

## 地域でも心優しい七中生です

先日、とても嬉しいことがありました。

本校の男子生徒が、自転車で校区を移動中に、道で体調を崩し困っていた高齢の方を助けたという内容です。

聞けば、その高齢の方は、自力では歩けない状態であったとのことで、その方の異変に気づいた本校の生徒が、声をかけ自分の自転車の荷台を杖代わりにつかんでもらい、一緒に歩いてその方の家まで無事送り届けたというのです。

後日、連れ合いの方から、「家族が、七中の生徒さんに助けていただきました。ありがとうございました。」と、お礼のお電話をいただいたことで、このことがわかった次第です。

自転車で走行中に気づいたとのことで、一瞬の判断であったと思います。これは、普段から優しい気持ちをもっていないとできません。

「もしも自分だったら、車を止めて声をかけたであろうか。もっと言うと気づいてあげられたであろうか。」と考えさせられました。

朝の生徒の登校時、正門前の横断歩道でさえ止まらない車も多い中、困っている人に気づき、すぐにその人に寄り添うことのできた本校の生徒から、私たち大人が学ばされることの多い出来事だったのではないのでしょうか。

今回、このように保護者の皆さんや地域の見守りのおかげで、心優しい七中生の校区での姿をうかがい知ることができ、大変嬉しく思います。

七中生は勉強やスポーツ等だけでなく、「心」も確実に育っています。



## 1学期間大変お世話になりました

コロナ第7波の到来と、なかなか思うように教育活動ができなかった1学期でしたが、生徒たちはできることを精一杯頑張っていました。

1年生は、集団宿泊教室や初めての定期テストへの取組。2年生は、実際に実施することはできませんでしたが、職場体験学習に向けた調べ学習や事業所との連絡調整。そして3年生は、生徒総会を始めあらゆる場面において、本校のリーダーとしての活躍が光りました。

また、学年の枠を超えて取り組んだ中体連総体や生徒会での活躍など、1学期の学校生活をとても充実したものにしてくれました。

この頑張りを、夏休みの一人一人のレベルアップと、2学期の更なる活躍につなげてほしいと思います。

1学期間、保護者の皆さんの本校教育へのご理解とご協力、大変ありがとうございました。

## 何より大切なものは「命」です

いよいよ明日から夏休みです。35日間の夏休みを楽しく過ごすために最も大切なことは、事故に遭わないことです。七中校区には大型トラック等が通る臨港線や用水路、河川、海等があります。生徒たちには決して、「危険なことはしない」「危険な場所に行かない」を心がけてほしいと思います。

保護者の皆さん、そして地域の皆さんには、時には温かく、時には厳しく生徒たちを見守り、声をかけていただきますようお願いいたします。

普段できないことが思い切りできる貴重な夏休みです。命を大切にしながらも多くのことを経験し、8月25日の始業式には、全員の一回り逞しくなった姿が見られることを楽しみにしています。

七中生の皆さん。すてきな夏休みを！